

層に徐々
クルダウ
「労働法
得分配を
られるべ
「ける」と
らの転換

易にやれ
国債残高
ると、「ば
きた。政
荒さを見
新自由主
ときえい

ないにし
とは必要
ではない
ものか。

果が十分
いる必要
りした財
らない。

政治家の
お金をい
ことに使
力を持っ
をできる

をできる
をできる
をできる
をできる

分配を語る時、混乱した主張が見られる。新型コロナウイルス対策のための一時的な分配と、中長期的な政策としての分配は違う。しっかり切り分けて議論してほしい。その上で中長期的に分配に比重を置く政策や「脱新自由主義」に私はおおむね賛成する。ただ各党が主張する分配は時代錯誤といえる。相変わらず「分配」ばらまき「成長」国内総生産（GDP）至上主義のままで。

国際経済やグローバル化の視点を欠いているのも問題だ。今やどの先進国も製造業が空洞化し、工場労働者らは賃金低迷に苦しんでいる。中国やアジア各国に仕事を奪われているためであり、こうした状況下で疲弊した人に分配し、補充するのは必要だ。だが、グローバル化の潮流は激しい。デジタル革命も相まって、もはや単なる場当たり的なばらまきでは何も解決しない。そもそも多くの党が言うように中間層全体に手厚く分配するのは到底困難だ。財政が破綻しかねない。

全体のパイが拡大している時はいいが、日本の経済は今、人口減少などで縮小している。誰かの利益を大きくしたら痛みを被る人は必ず出る。痛みは将来世代に担わせるのか、消費増税で賄うかは不明だ。

政治家を語る。決して悪
選挙は政
見定める
力も工夫
「はらまき」
家は努力
わないだ
「まき」政治
の確かな
民主政治に
が有権者
るといっ
鈴木直

市場システム自体 変える時

だ。カネをばらまくだけなら楽な仕事だ。分配の裏にある過酷な現実を語らず、おいしい話だけするのは「政治ショー」に過ぎない。与野党とも「脱新自由主義」と言うが、具体的にどう変えるかを誰も語らない。本気で目指すなら、市場システム自体を変えるべきだと私は思う。「カネですべてが買えるのが新自由主義的な発想だ。しかし、今、地方ではカネがあっても買えないものがある。例えば人手不足でタクシーがない。でも住民が軽トラなどに乗せてくれる環境はある。カネをばらまく分配ではなく、助け合って生活する「協働・協同」のようなシステムをうまく組み込めばどうか。

成長で言えば、GDPを目標にするのはもうやめた方がいい。需要喚起策ばかりに力を入れてGDPを上げるより、サプライサイド（供給側）を重視した夢のある政策を打ち出すべきだ。グリーンイノベーションで脱原発やクリーンエネルギー、「協同」などをパッケージにして、地方から社会全体を変えてみたらどうだろう。

成長には「頭脳の資源化」が必要不可欠だ。頭脳は国の資源なのに、大学教育や研究の予算は削られ軽視されている。岸田文雄首相の政策は池田勇人元首相に倣っているが、池田氏が提唱した「所得倍增計画」などの土台は経済学者が支えていた。岸田氏の政策全体がぼんやりしているのは、土台を欠いているからではないか。経済学をはじめ社会科学などの研究にもっと国家予算を充てるべきだ。

GDP至上主義を続ければ、行きていく先は労働力不足と生産性向上だ。老若男女が効率化を強要され、ギスギスした社会になりかねない。その兆候は見えている。それより幸福度や生活満足度を目標に置く国を目指したらどうか。それこそ閉塞感を抱く人々の胸に響くと思う。【聞き手・宇田川恵】

大久保 敏弘

慶応大経済学部教授



おおくぼ・としひろ
1975年生まれ。2003年米シカゴ大修士課程修了。05年スイス・ジュネーブ大、ジュネーブ国際開発高等研究所博士課程修了。専門は国際貿易論、海外直接投資論など。

からだ。「子どもの福祉」と
いう視点から、ようやくシン
ブレマナート直が向いた。い
ちがいる中、介護ヘルパーや
保育士らは自ら感染リスクを
負いながら、高い成長を遂
しれないが、私は根本のどこ
ろでつながっていると考えて

ご意見、ご感想をお寄せください。 〒100-8051 毎日新聞「オピニオン」係 opinion@mainichi.co.jp

653	43	カネミツ	738	61	カネHD	992	77	Y&T	74	1960	41	AMGH	892	46	フライト	504	41	要興業	912	46	データセク	352	42	ベイス	6290	1250	リカクト	1948	456	メディア	478	79	キャリア	627	0	ジェイク	1192	22	アシロ	743	420	サーキ	4305	290
-----	----	------	-----	----	------	-----	----	-----	----	------	----	------	-----	----	------	-----	----	-----	-----	----	-------	-----	----	-----	------	------	------	------	-----	------	-----	----	------	-----	---	------	------	----	-----	-----	-----	-----	------	-----